



持続可能な社会に貢献するため “生きた”環境問題を学びます

止まらない地球温暖化、自然災害、自然環境の破壊など、環境問題が山積みの今、それらを解決し、明るい未来へと導く環境のプロフェッショナルが求められています。こうした時代のニーズに応え、環境システム学科では、企業・行政・NPO 法人などと協働し、“生きた”環境問題を学べる「環境プロジェクト」を実施。学生たちは、環境負荷を低減させるためのしくみをつくり、その改良に取り組みながら、専門知識だけではなく、環境マネジメントに必要な企画力や行動力を身に付けていきます。また、最近私が関心を持っているのは、「持続可能な開発のための教育（ESD）」です。ESD（Education for Sustainable Development）とは、持続可能な社会の担い手を育むための教育のこと、課題解決につながる価値観の創造や行動に活かすことができます。さらに、持続可能な社会の実現に貢献するためには、「強い意欲」や「リーダーシップ」を身に付けることも必要です。本学科での学びが、環境問題の解決につながる重要な使命であることを体感しながら、培った能力を存分に発揮する次代のリーダーを目指してください。

学科長
村松 陸雄 教授

東京工業大学大学院 総合理工学研究科
人間環境システム専攻博士課程修了〔博士（工学）〕
研究領域：環境心理学、行動科学